



佐々木 アイさん (大沢・79歳)

日課の散歩で健康そのもの

★小さいころの思い出は
 わたしが子供のころは、柳沢地区一带はきれいな砂浜と松林でした。今ではすっかり立派な街になっていて、時代の流れを感じますね。

★趣味は何ですか
 暇があれば、針仕事や娘に教わった手芸などをやっています。手を動かすのでボケ防止にもなりますし、ただ座っているのが

もったいないですからね。

★元気の秘けつは
 毎日三十分くらい歩いているおかげか、体に悪いところはほとんどありません。山々の景色を眺めながら歩くと、とても気持ちがいいのですよ。

★町に望むことは
 活気のある町になってほしいです。自分が生まれ育ってきた町だから、特にそう感じます。

★今頑張っていることは
 わたしが副会長をしている大沢老人クラブの活動をもっと活発にしたいですね。

イラスト



鈴木萌夏(9) 杏草子(15) 湊由紀子(10) 田畑葵唯(7) 佐藤裕(7) 木村友美(12) スカトライダーだかね(15) 佐々木美里(9) 木村志麻(11) 神無月(7) 木戸脇瑞南(7) 伊藤有紗(12) 田畑有望(11) 稲川美里(11) 藤原美保(5) 佐々木美里(9) 伊藤美里(14) F2(17) ミズ(15) おのはるな(6) 蝶♡(11) 威繪甚癒微(15) ハウル(7)

みんなのスペース



おおかわけいたくん (山田第二保育所・6歳)

ぼくのゆめ

おあきくなったら、消防士になりたいな。水をかけて、火を消すのがカッコいいから。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

心に残る世代間交流会

新しい年が明けた一月八日、「船越公民館まつり」が開かれ、世代間交流会とあつて参加した。午前九時の開会に合わせ、小学校児童や保護者、老人クラブ、婦人部の皆さんが大勢集合。新年のあいさつを交わし、和やかな笑顔がとて印象的だった。館長さんのあいさつに次いで、みんなでお母さんたちが丹精込めて作ったミズキ団子を飾り付けた。昔遊びのこま回しやたこ揚げ、竹馬などで遊んだりして、大いにぎわった。わたしもこま回しを手ほどきしたが、子供たちはのみ込みが早く、びっくりするほどだった。昼食の後の第二部は、小学生による伝承芸能、「ソーラン節」の手踊り、船越文庫読書会による人形劇などで盛り上がりを見せた。地区民の交流と触れ合いが生まれ、意義深い日だった。 齋藤忠雄(船越・79歳)

創立80周年記念誌を作製 山田高校で昔の写真や 新聞記事集めています

今年、創立80周年を迎える県立山田高等学校では、記念事業の一環として記念誌「山田高等学校80年史」を発行するに当たり、資料を集めています。同校に開



創立当時の校舎

する昔の写真や新聞記事などをお持ちの方で、借用について協力いただける方は、ご連絡をお願いします。

◆借用したい資料 ▶写真(学校行事、校舎移転、津波災害など)▶新聞記事(国体、インターハイ、周年・記念行事、津波災害など)▶徽章(バッジ)など

◆連絡先・問い合わせ 2月28日までに県立山田高等学校80周年記念誌編集委員会事務局(☎82-2164)へ。

駅にコインロッカーを

時々、駅にコインロッカーがあったらいいなと思います。町内の駅にコインロッカーを設置できないでしょうか。

小林八重子(織笠・59歳)

【回答・総務課】 JR東日本の駅舎内のコインロッカーは、JRではなくキヨスクなどの民間業者が設置しているものです。また、放置物の見回り確認と回収・撤去、有料

楽しかった小正月行事

今年も織笠保育園の小正月行事に参加した。手順よく催しが

行われ、婦人会長さんから小正月やなごみの伝説が園児たちに語り継がれた。まじめに聞き入る園児たちのあどけない顔がとてもかわいかった。「素直に育つてね」とつぶやいた。重ねて、わたしが子供のころのエピソード。今は不帰、明治生まれの近所の母親たちと母は、「今夜は金毘羅様、次は稲荷様」とおこもりに……。それは、戦地にいる吾子たちの無事のお参詣と聞かされた。

ある晩のこと、後を追うと「ぎーこあきたーぞ」「もーこあきたーぞ」と荒々しい音が外から聞こえてくるのでおっかなびっくり。年月が経ち、あの時の「ぎーこ」は、わたしをなだめるために「おこもりグループ」が縁側の板戸をたたいていたのだと後で聞いた。子供のころの思い出は長じてからも心の奥にあり、支えになっている。

保育園での小正月行事、そして参加した祖父母の皆さんとお茶会で心置きなく楽しませていただきました。園児の皆さん、先生方ありがとうございました。

菊地サカエ(織笠・69歳)

◆ ◆ ◆

はなれ住むこの身案する
 文よみて乙女の如く心ときめく
 美智子(八幡町・?歳)

◆ ◆ ◆

明けまして昇る朝日に福が見へ
 佐藤菊實(荒川・76歳)

◆ ◆ ◆

温泉に出発つ我に孫は言う
 「交われ。語れ。引籠るな」と
 佐藤美栄子(大沢・83歳)

◆ ◆ ◆

九、七、三は
 女の厄とききおるが
 われ昨年始めから
 厄、厄、厄のオンパレード
 淋しき日々を過こしけり
 ありがたく
 無事に年越しはしましたが
 いつになったらこの眼
 見えるようになるのかと
 悲しいことはこれだけで
 甲斐谷セチ(八幡町・89歳)